

令和元年度小松市立松東中学校　学校評価 2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・８月提出）	取組の成果と課題（年度末・３月提出）
生徒指導部	〈いじめ・不登校・暴力行為やネットトラブル等未然防止・早期発見・対応の徹底〉	・教職員にはいじめ対応アドバイザーによる事例検討を通して「いじめの積極的認知について」共通理解を図った。全校生徒には４月の全校集会において「いじめ防止基本法」について伝えた。 ・欠席が２日連続で続く生徒には家庭訪問を実施している。人間関係で欠席した生徒には、当日に家庭訪問している。	
	・いじめに対する積極的認知をおこなうために、職員会議で生徒指導主事が中心となって情報共有、共通理解を図る。 ・不登校傾向の生徒や欠席が２日連続で続く生徒へは担任による定期的な家庭訪問の実施。前期と後期には個人面談やいじめアンケートを実施する。		
道徳教育	心豊かな生徒の育成を目指して道徳の授業実践を重ねる。	・学校の研究主任と連携を図り、１学期には校内研修として道徳の研究授業が行われ、整理会を行った。また授業参観週間でも道徳の授業を参観する機会も設けた。 ・１１月に行われる道徳の研究授業の指導案検討を職員だけでなく、委員会の担当者も交えて行うことができた。 ・授業で使用するワークシートを各担任が作成して活用することを継続することができた。またその中での記述や授業での様子をみて、１学期末の通知表の評価を記載することができた。 ３学期に向けてまた継続していきたい。	
	・定期的に道徳の授業を公開したり参観し合ったりすることで授業力向上に努める。 ・日々の道徳ノートでの感想へのコメントを通してのやりとりや年２回授業の評価を通知表に載せることで生徒や保護者にも心の成長が伝わるようにする。		
キャリア教育	〈系統的・計画的なキャリア教育の推進〉	・２年生の総合学習では職場体験にむけたスキル学習やジョブカフェでの研修を行った。 ・道徳の時間にも生き方を考える授業を行った。 ・夏休みには２年生の職場体験、３年生の先輩に話を聞く会などが予定されている。	
	・学級活動（進路指導）と総合的な学習の時間を中核として年間計画に沿って推進する。 ・学級活動や道徳などをうまく取り入れ「生き方」について考えられるキャリア教育を進めていく。 ・校外学習や職場体験を通じて社会性や礼儀の大切さ、仕事のやりがいなどを見つけさせる。 ・先輩や社会人の話を聞き、視野を広げられるようにする。		
保健健康教育	自ら進んで健康づくりに取り組む生徒を育てる。	・健康診断結果から精検対象者へは個別指導を実施し、早期受診に努めさせた。中でも歯科保健については、歯みがき習慣を含む生活習慣をふりかえらせ、定期的に個別指導を繰り返し、１学期末の治療完了率は64.7%。また生徒保健委員会活動で生活習慣調べに取り組み、各学年の課題を見つけ、めあてを掲げて学級で啓発した。今後は学校保健委員会において課題解決に向けての取組をすすめる。	
	・授業や部活動をとおして健康に関する知識を深めるとともに、体力（全身持久力）の維持、向上を図る。１校１プランでの取り組みを全校生徒に意識させ、自主的に運動に関わることも出来るようにする。 ・自身の健康課題に気づき、改善に向けて取り組むことができるように、管理・指導を充実させる。		
家庭・地域との連携	（学校・家庭・地域との連携を強め、情報を発信していく）	6月に育友会の教養講座で木管５重奏のコンサートを行った。地域や保護者への声かけの成果もあり、当日は多くの人が集まり大盛況の内に終えることが出来た。統合に向けての総合学習の見直し、道徳の地域人材活用等は旧金野小への引っ越しを終えた２学期より進めていく。	
	・学校行事の地域への発信、参加の呼びかけ ・統合に向け総合的な学習、道徳の地域人材の積極的活用を進める。		

学校関係者評価	・松東みどり学園開校に向けていろいろな魅力を発信して行かなければならない。部活動もeスポーツやロッククライミングなども考えればいいのではないか。 ・熊対策については専門家からアドバイスをもらうなど、今後金野小への移転もあるのでしっかり考えていかなければならないのではないか。 ・義務教育学校に向けて新しい教育課程を早く相談し進めていくことが大事である。
---------	--